授業科目名・形態	地域と精神看護　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	畠山　禮子　戸田博行	実務経験の有無	有	開講期	4年前期
科目ナンバリング	N7-4004				

【授業の主題と目標】

精神障害者の社会参加促進は重要である。本講義では精神保健医療の地域化へ向けた流れの中で、精神障害者の地域移行支援に必要な基本的看護と実践について学ぶ。さらに地域で暮らす精神障害者（当事者）の現状と課題について学ぶ。

【到達目標】

1）精神障害者の地域支援体制について理解する。
2）精神障害者に必要な知識と技術を理解する。
3）退院計画から地域支援までの看護について理解する。
4）地域で暮らす精神障害者（当事者）の現状と課題を理解する。

【授業計画・内容】

1. 精神障害者の地域支援体制（畠山）
2. 精神障害者の支援に必要な知識と技術（畠山）
3. 退院計画から地域支援①（畠山）
4. 退院計画から地域支援②（畠山）
5. 精神障害者地域生活支援センターの概要と現状(戸田)
6. 看護者による地域支援(戸田)
7. 精神障害者（当事者）活動（畠山）
8. 地域で暮らす精神障害者（当事者）の現状と課題　まとめ　（畠山）

【授業実施方法】

主にミニレクチャー、ディスカッションを取り入れる。

【事前・事後学習】

・講義内容に関する事前学習を毎回 120 分以上行うこと。
・講義内容を踏まえ、復習を毎回 120 分以上行うこと。

【主な関連する科目】

「病態治療学Ⅲ（精神疾患)」「精神看護学概論」「精神看護方法論Ⅰ」「精神看護方法論Ⅱ」「精神看護学実習」

【教科書等】

随時資料配布

【参考文献】

田中美恵子　精神障害者の地域支援ネットワークと看護援助　医歯薬出版株式会社　2004.
田中美恵子　精神障害者の退院計画と地域支援　医歯薬出版株式会社　2009.

【成績評価方法】

授業参加態度（20%)、課題への取り組み（80%）などにより総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

総合病院で看護職として患者や家族への対応等について経験。
実務経験から得た看護師としての技術や知識、チーム医療の重要性などについて授業に活かしていきたい。

【学生へのメッセージ】

地域で暮らす精神障害者の住まう場・働く場での生活の様子や課題などについて、ともに考えていきましょう。